

鍼灸科

臨床関係総論 2

対象	3年次	開講期	後期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	森田義之			実務経験	有	職種	鍼灸師				

授業概要

検査法、施術学、臨床心理学などの知識を基に医療従事者に必要不可欠な総合力を身につけます。

到達目標

トリガーポイント療法の概念を理解しながら必要な知識を習得し、安全に配慮した効果的な刺鍼スキルを習得する。科学的な解釈、効果の機序を理解し患者に対する説明を疾患別にできるレベルまで到達する。医師との共通言語としても使えるように理解を深め、臨床の現場で役立つ知識および技術として身につける。

授業方法

トリガーポイント療法で治療ができるような方法を教授する。先ずは「トリガーポイント」とはどのようなものかという基礎的な理解から始まり、実際にはどのような理論で治療体系が構成されていくのかを学ぶ。また、できるだけ具体的に方法論を教授し、実際に使える知識として教授を行う。

成績評価方法

期末試験（筆記試験）。

履修上の注意

授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。課題は、本科の規則に従った形式で提出する。特定の指示が有る場合を除いて、手書きでの作成を原則とする。

教科書教材

配布資料

回数	授業計画
第1回	トリガーポイント鍼療法の応用1
第2回	トリガーポイント鍼療法の応用2
第3回	トリガーポイント鍼療法の応用3

鍼灸科

臨床関係総論 2

第4回	トリガーポイント鍼療法の応用4
第5回	トリガーポイント鍼療法の応用5
第6回	トリガーポイント鍼療法の応用6
第7回	トリガーポイント鍼療法の応用7
第8回	トリガーポイント鍼療法の応用8
第9回	トリガーポイント鍼療法の応用9
第10回	トリガーポイント鍼療法の応用10
第11回	トリガーポイント鍼療法の応用11
第12回	トリガーポイント鍼療法の応用12
第13回	トリガーポイント鍼療法の応用13
第14回	トリガーポイント鍼療法の応用14
第15回	トリガーポイント鍼療法の応用15